

平成24年(2012年)3月期 決算説明会

取締役社長 三島 康博
常務取締役 佐々木 康夫

2012年5月14日
フタバ産業株式会社
(#7241)

1. 平成24年(2012年)3月期 決算概況【連結・個別】

2. 今後の取り組みについて

3. 平成25年(2013年)3月期 通期業績見通し【連結・個別】

連結決算概況

〈連結〉平成24年(2012年)3月期 決算要約

4

金額単位:億円

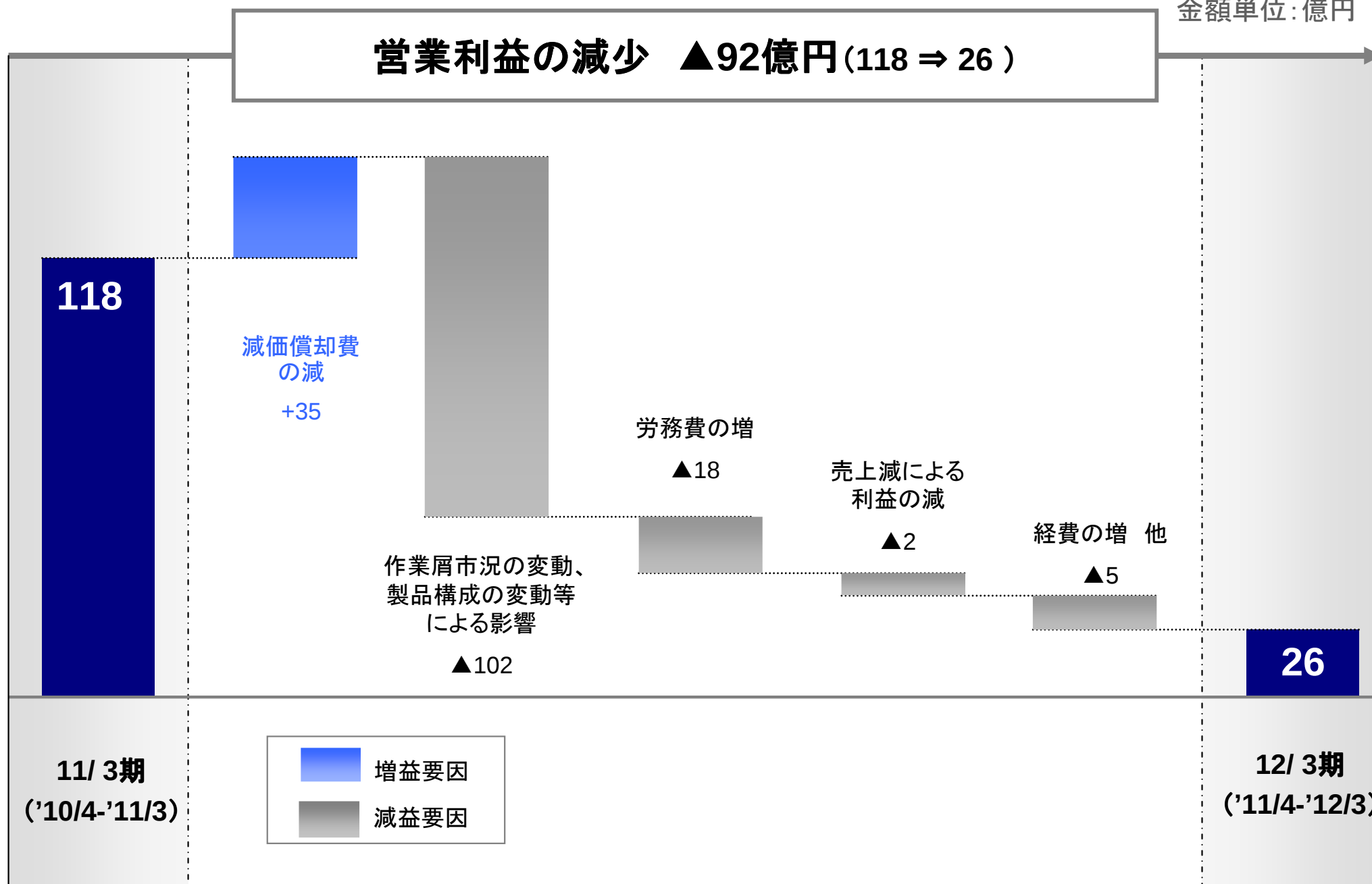
	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	11/ 3期 累計 ('10/4-'11/3)	対 前年同期比	
			増減	増減率
売上高	3,720	3,734	▲13	▲0.4%
営業利益	26	118	▲92	▲77.9%
経常利益	3	84	▲81	▲96.0%
当期純利益	▲45	33	▲79	—
為替レート (1ドル)	79円	86円	7円の円高	

〈連結〉営業利益の増減分析（対 前年同期比）

5

金額単位：億円

営業利益の減少 ▲92億円(118 ⇒ 26)



〈連結〉営業外費用および特別損失の内訳

6

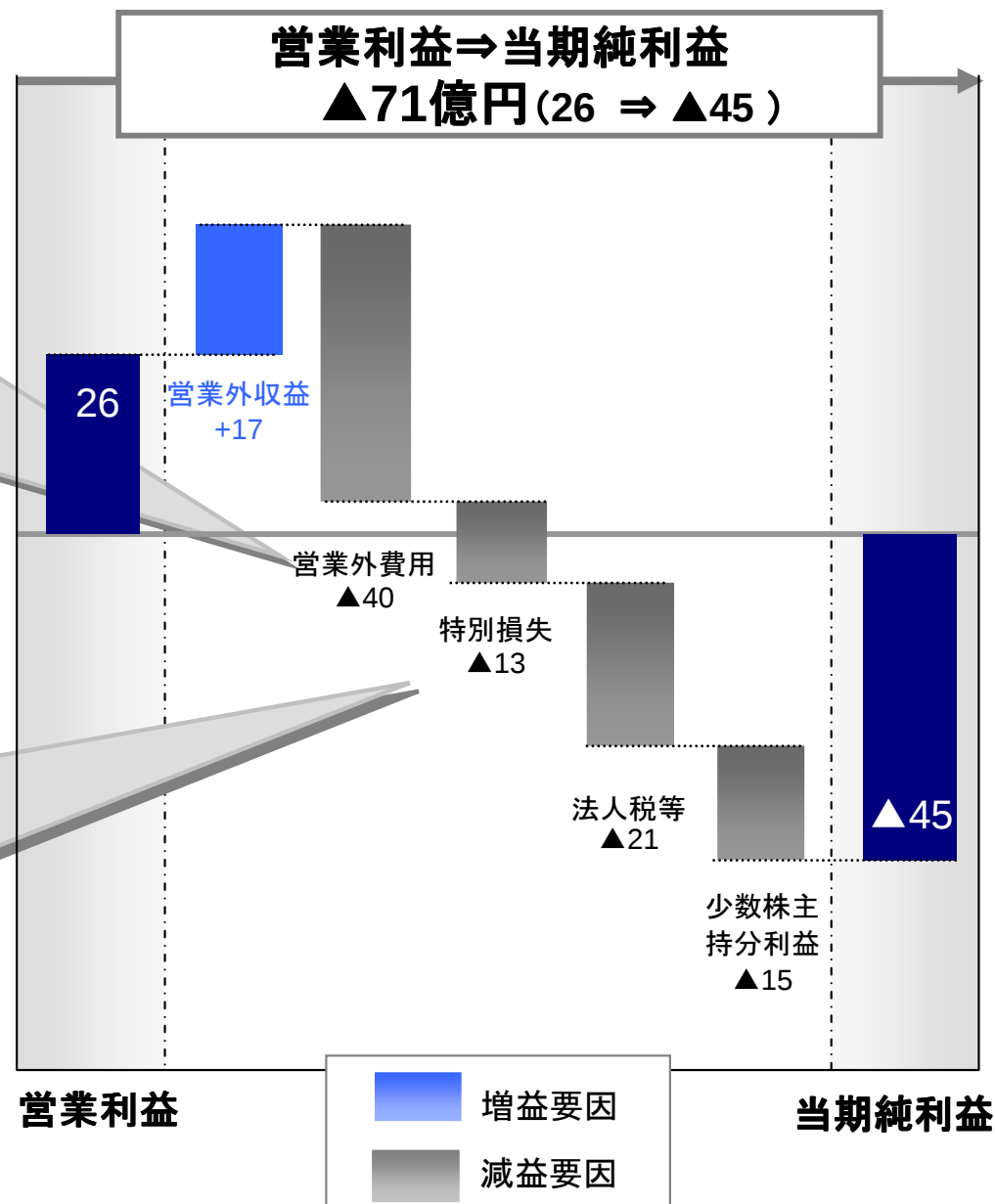
金額単位: 億円

【営業外費用(▲40億円)の主な項目】

支払利息	15.7億円
為替差損	10.0億円
固定資産廃棄損	5.9億円
外国源泉税	4.0億円

【特別損失(▲13億円)の主な項目】

減損損失	5.9億円
投資有価証券評価損	5.0億円
リコール損失引当金繰入額	2.3億円

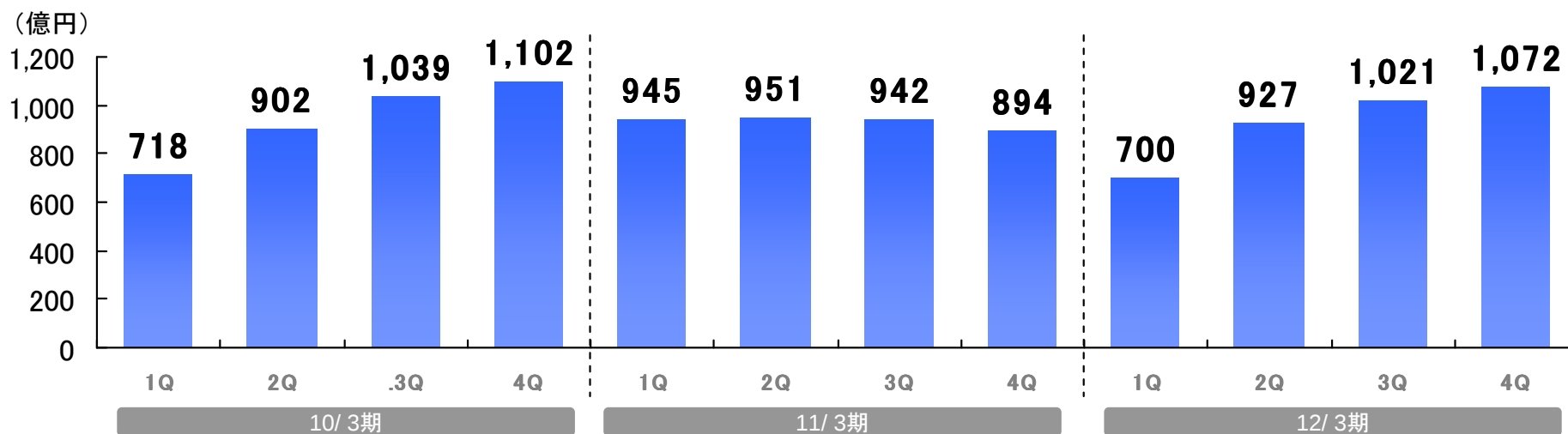


〈連結〉四半期別売上高と営業利益の推移

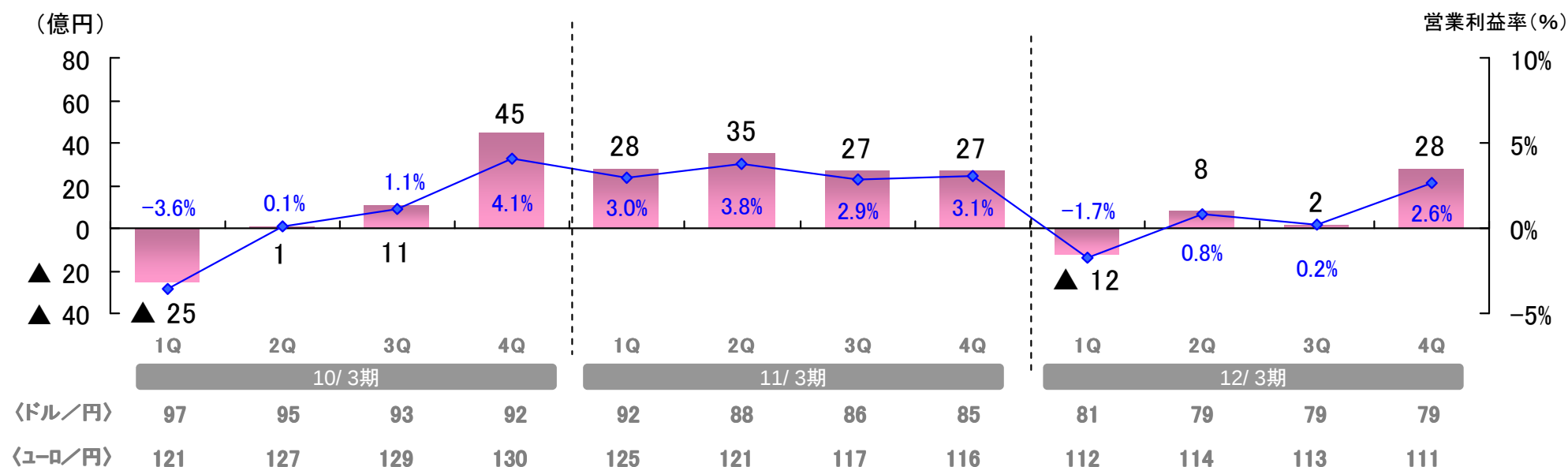
7

◆ 四半期毎の売上高推移

金額単位: 億円



◆ 四半期毎の営業利益推移



〈連結〉地域別売上高と営業利益

8

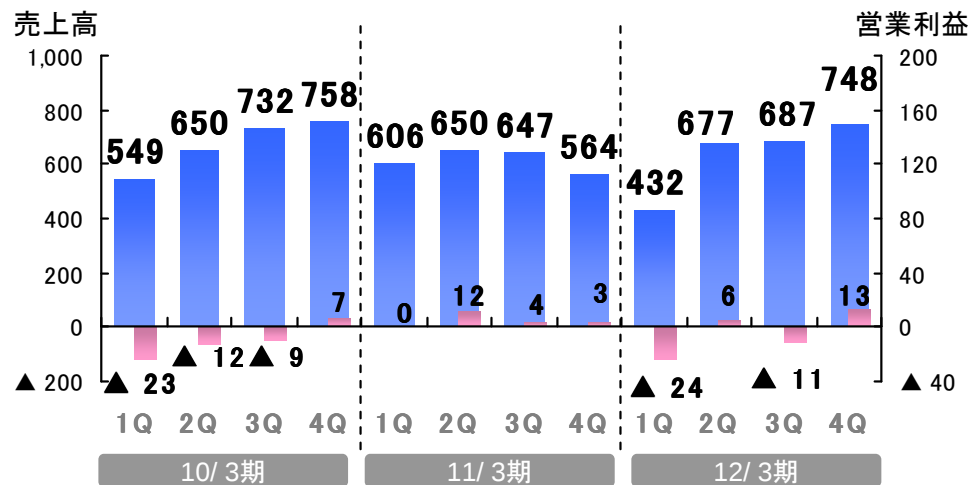
金額単位：億円

		12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	11/ 3期 累計 ('10/4-'11/3)	対 前年同期比	
				増減	増減率
日本	売上高	2,544	2,469	74	+3.0%
	営業利益	▲16	20	▲37	—
北米	売上高	452	500	▲48	▲9.7%
	営業利益	▲14	19	▲33	—
欧州	売上高	234	254	▲19	▲7.9%
	営業利益	0	7	▲7	▲96.0%
アジア	売上高	609	627	▲17	▲2.7%
	営業利益	56	69	▲13	▲18.9%
連結調整	売上高	▲119	▲117	▲2	—
	営業利益	0	2	▲1	—
合計	売上高	3,720	3,734	▲13	▲0.4%
	営業利益	26	118	▲92	▲77.9%

〈連結〉地域別四半期業績推移

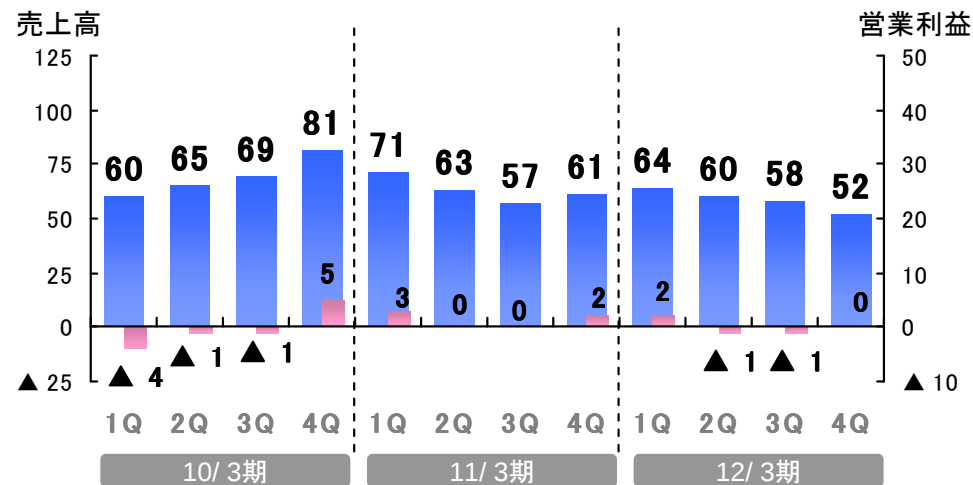
9

日本

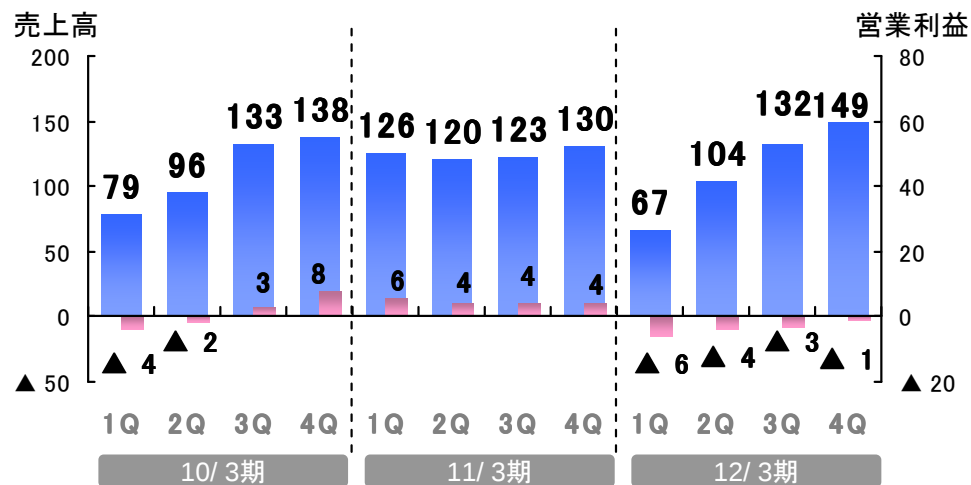


欧州

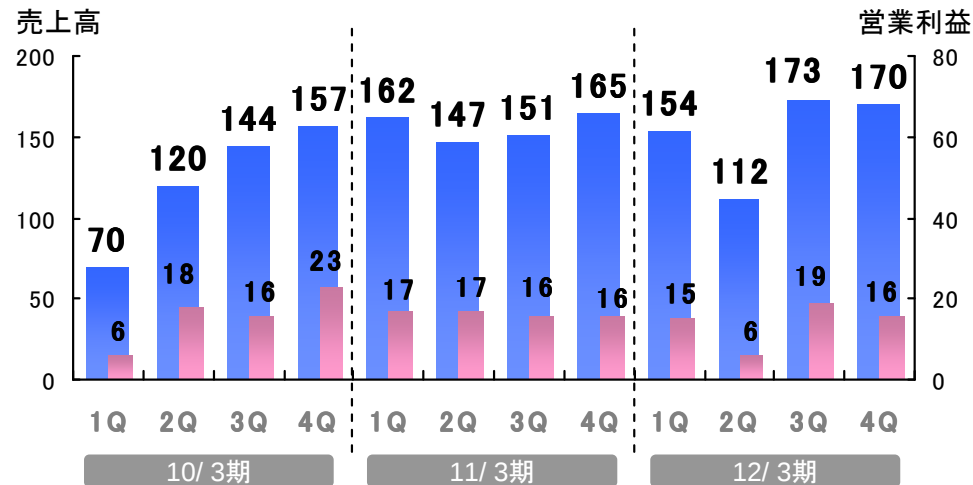
金額単位: 億円



北米



アジア



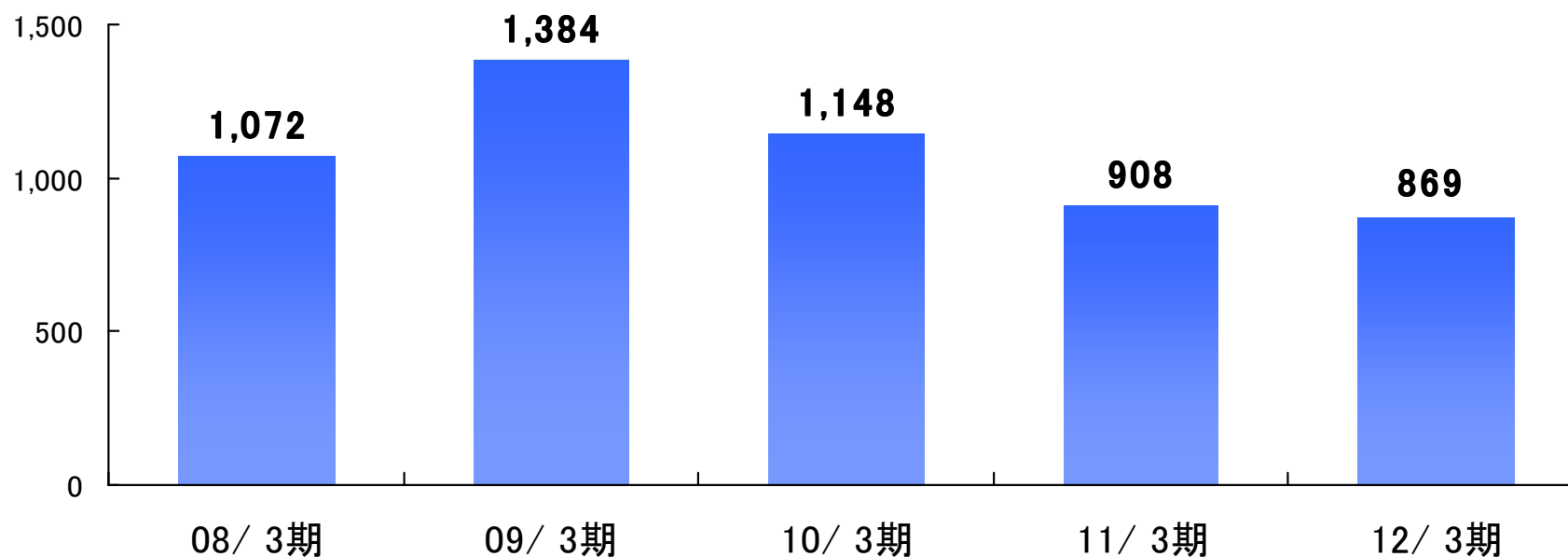
金額単位:億円
数字横()内はシェア

	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	11/ 3期 累計 ('10/4-'11/3)	対 前年同期比	
			増減	増減率
※トヨタグループ	2,647 (71.1%)	2,655 (71.1%)	▲8	▲0.3%
スズキ	423 (11.4%)	423 (11.3%)	0	0%
三菱自動車	325 (8.8%)	331 (8.8%)	▲6	▲1.8%
※日産グループ	55 (1.5%)	50 (1.3%)	+5	+10.1%
本田技研	43 (1.2%)	47 (1.2%)	▲3	▲7.4%
富士ゼロックス	68 (1.8%)	83 (2.2%)	▲14	▲17.6%
その他	156 (4.2%)	142 (3.8%)	+13	+9.4%
合計	3,720 (100%)	3,734 (100%)	▲13	▲0.4%

※1 トヨタグループには、ダイハツ、トヨタ車体、関東自動車、日野自動車等を含む。

※2 日産グループには、日産車体を含む。

有利子負債残高
(億円)

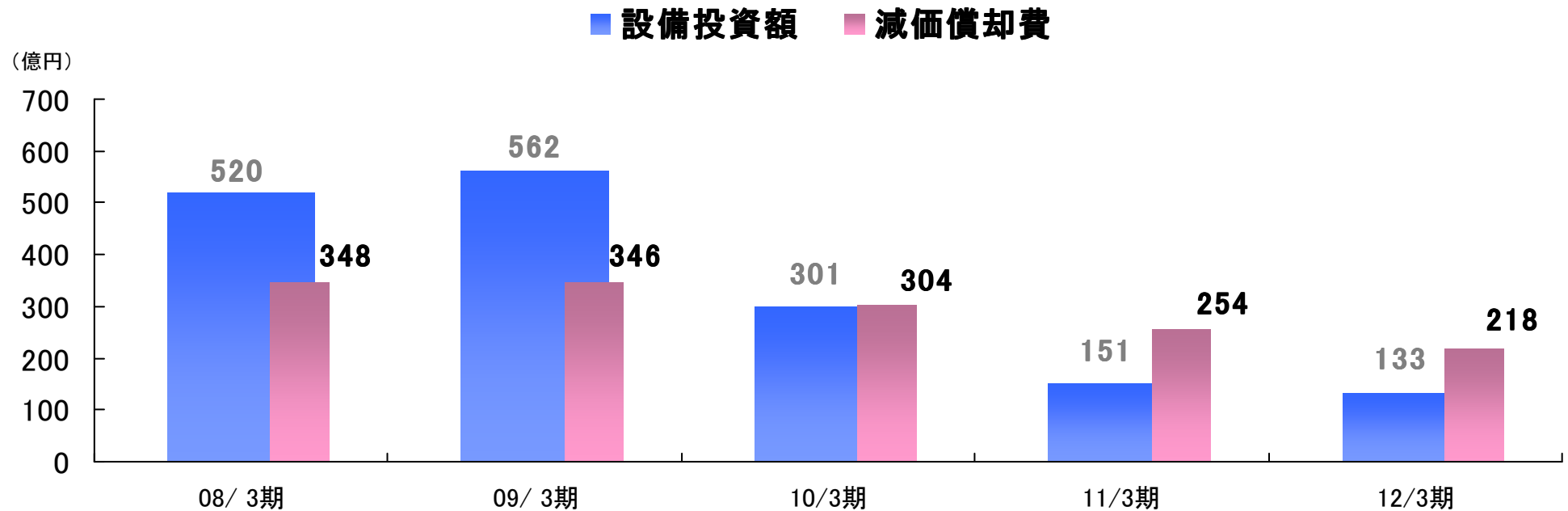


	08/ 3期	09/ 3期	10/ 3期	11/ 3期	12/ 3期
短期借入金	362	734	629	393	369
1年内返済予定の長期借入金	34	40	139	126	259
長期借入金	429	457	375	339	189
その他	247	151	4	50	52
有利子負債残高	1,072	1,384	1,148	908	869

〈連結〉設備投資額と減価償却費の推移

12

◆ 設備投資額と減価償却費の推移



金額単位: 億円

	08/3期	09/3期	10/3期	11/ 3期	12/3期
設備投資額	520	562	301	151	133
減価償却費	348	346	304	254	218

個別決算概況

金額単位: 億円

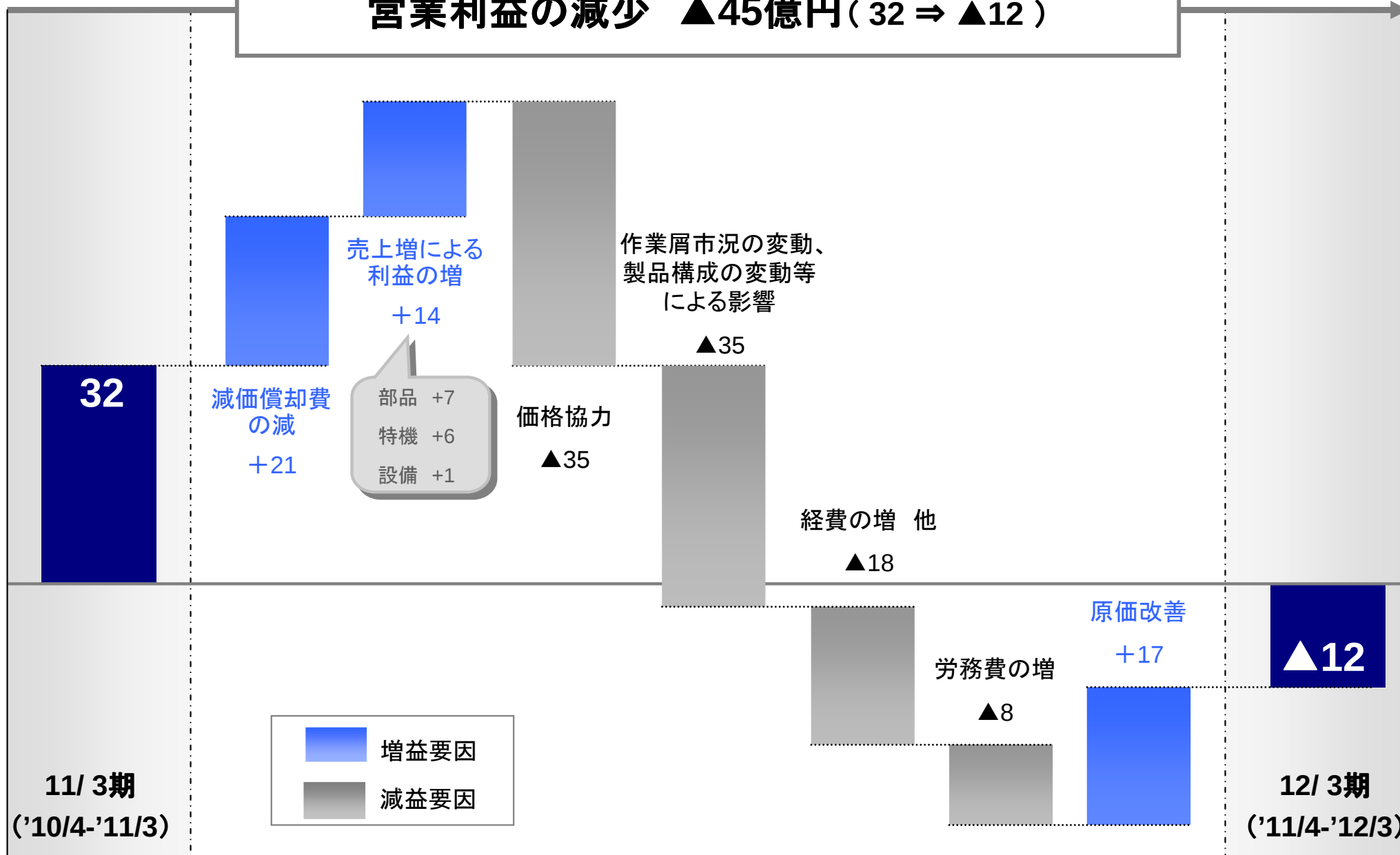
	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	11/ 3期 累計 ('10/4-'11/3)	対 前年同期比	
			増減	増減率
売上高	2,518	2,444	73	+3.0%
営業利益	▲12	32	▲45	—
経常利益	▲16	21	▲37	—
当期純利益	▲32	15	▲47	—

〈個別〉営業利益の増減分析（対 前年同期比）

15

金額単位：億円

営業利益の減少 ▲45億円（32 ⇒ ▲12）



〈個別〉営業外費用および特別損失の内訳

16

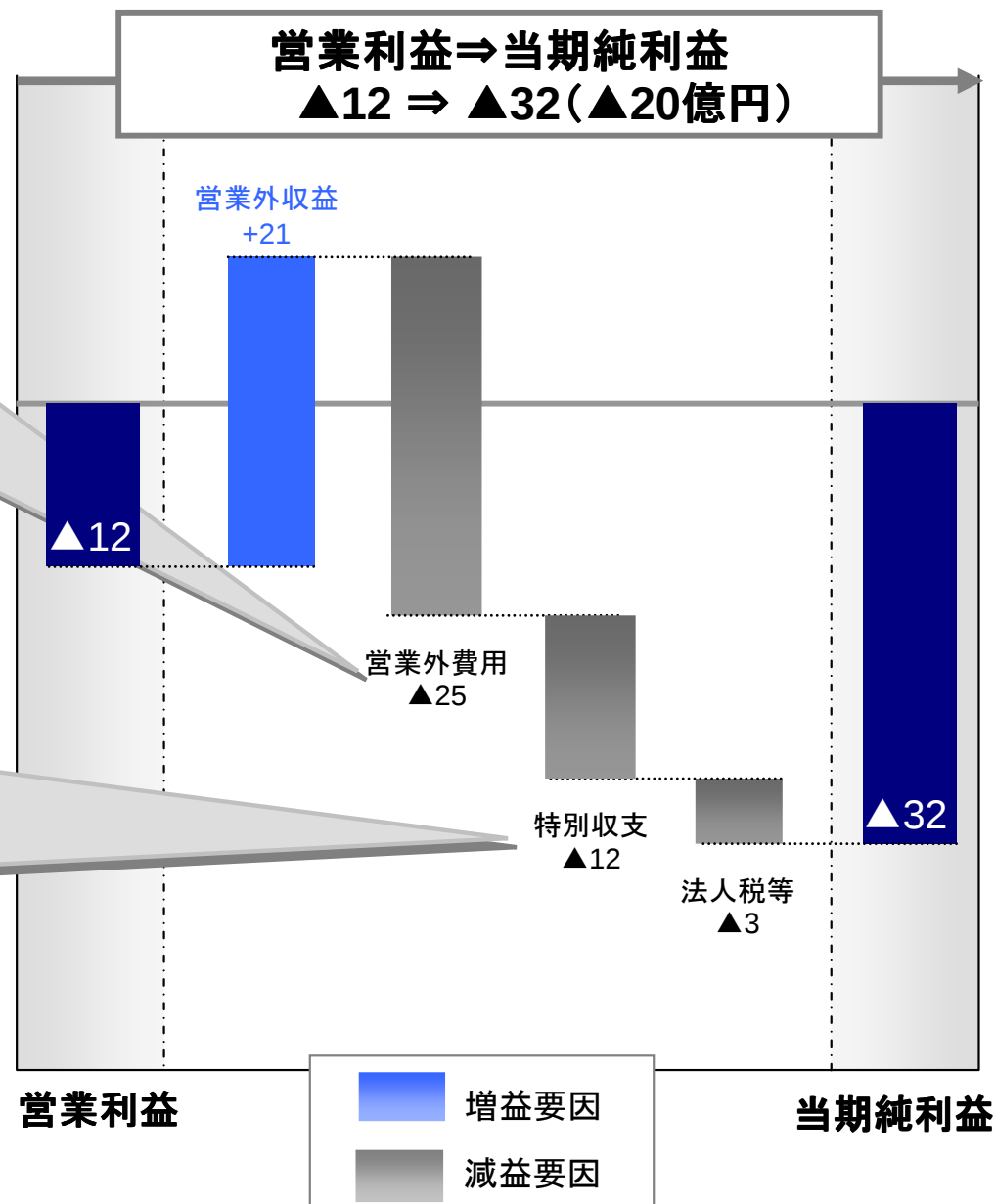
金額単位: 億円

【営業外費用(▲25億円)の主な項目】

為替差損	9.4億円
支払利息	7.7億円
外国源泉税	4.0億円

【特別収支(▲12億円)の主な項目】

減損損失	5.9億円
投資有価証券評価損	5.0億円
リコール損失引当金繰入額	2.3億円

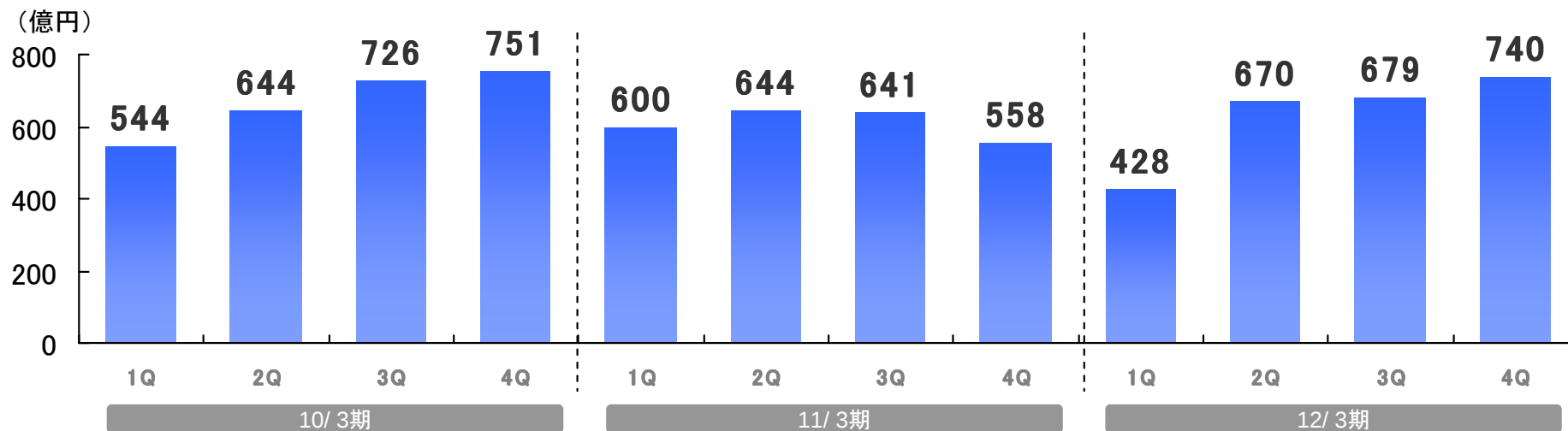


〈個別〉四半期別売上高と営業利益の推移

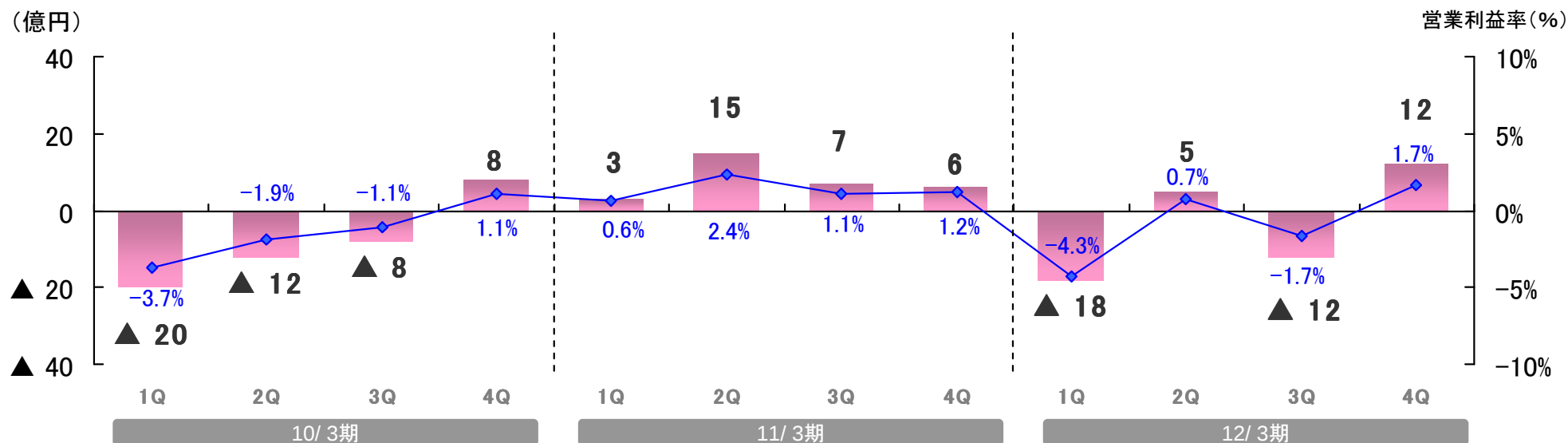
17

◆ 四半期毎の売上高推移

金額単位: 億円



◆ 四半期毎の営業利益推移



金額単位: 億円
数字横()内はシェア

	12/ 3期 累計 ('11/4-'12/3)	11/ 3期 累計 ('10/4-'11/3)	対 前年同期比	
			増減	増減率
※トヨタグループ	1,565 (62.2%)	1,498 (61.2%)	+67	+4.5%
スズキ	292 (11.6%)	277 (11.3%)	+15	+5.6%
三菱自動車	324 (12.9%)	330 (13.5%)	▲5	▲1.8%
※日産グループ	55 (2.2%)	50 (2.0%)	+5	+10.1%
ホンダ	28 (1.1%)	32 (1.3%)	▲4	▲12.8%
富士ゼロックス	31 (1.2%)	43 (1.7%)	▲12	▲28.9%
その他	220 (8.8%)	214 (8.7%)	+6	3.0%
合計	2,518 (100%)	2,444 (100%)	+73	3.0%

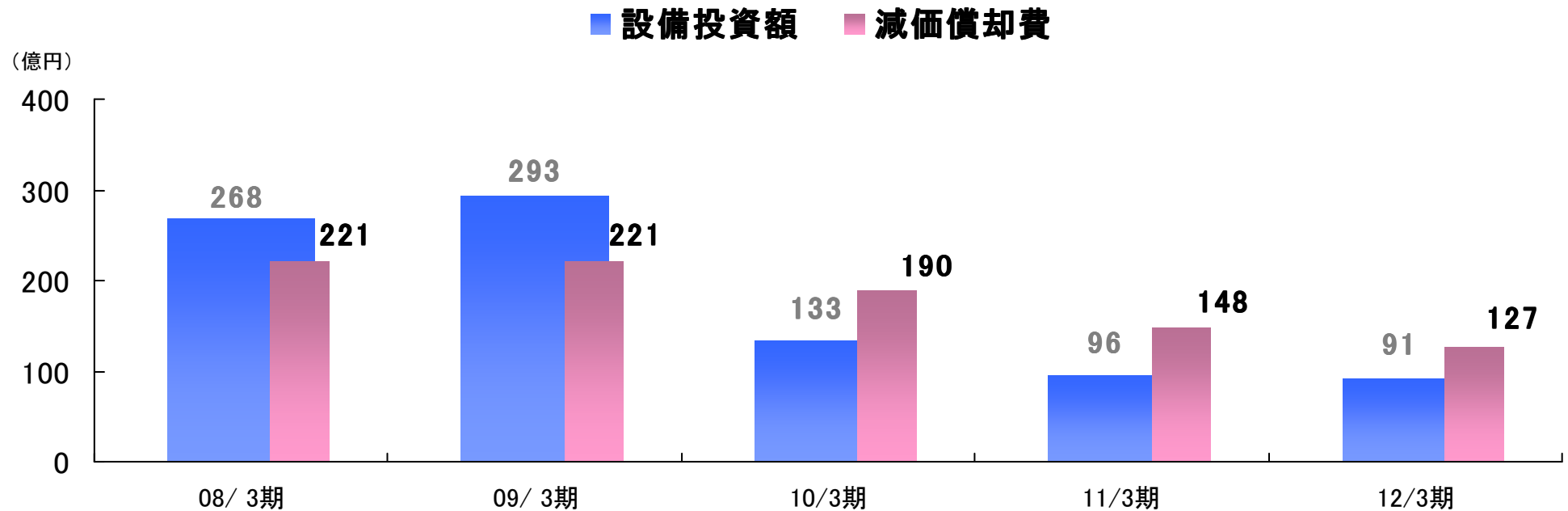
※1 トヨタグループには、ダイハツ、トヨタ車体、関東自動車、日野自動車等を含む。

※2 日産グループには、日産車体を含む。

〈個別〉設備投資額と減価償却費の推移

19

◆ 設備投資額と減価償却費の推移



金額単位: 億円

	08/3期	09/3期	10/3期	11/ 3期	12/3期
設備投資額	268	293	133	96	91
減価償却費	221	221	190	148	127

配当金(年間):無配

	平成24年 (2012年)3月期	平成23年 (2011年)3月期
中間期	0円	0円
期 末	0円	3円
合計	0円	3円

1. 平成24年(2012年)3月期 決算概況【連結・個別】

2. 今後の取り組みについて

3. 平成25年(2013年)3月期
通期業績見通し【連結・個別】

厳しい状況を打破し、 収益の確保に向けた活動をスタート

全社収益改善
委員会の設置

フタバNGA活動
のスタート

◇全社収益改善委員会をスタート

徹底した収益構造の改革に向けて、この活動委員会を設置することで、確実に諸施策を実施し成果を出す。

徹底した収益改善

①サプライチェーン整流化

シンプルで効率的な
サプライチェーンを
構築する。

②シンプル・スリム・コンパクト

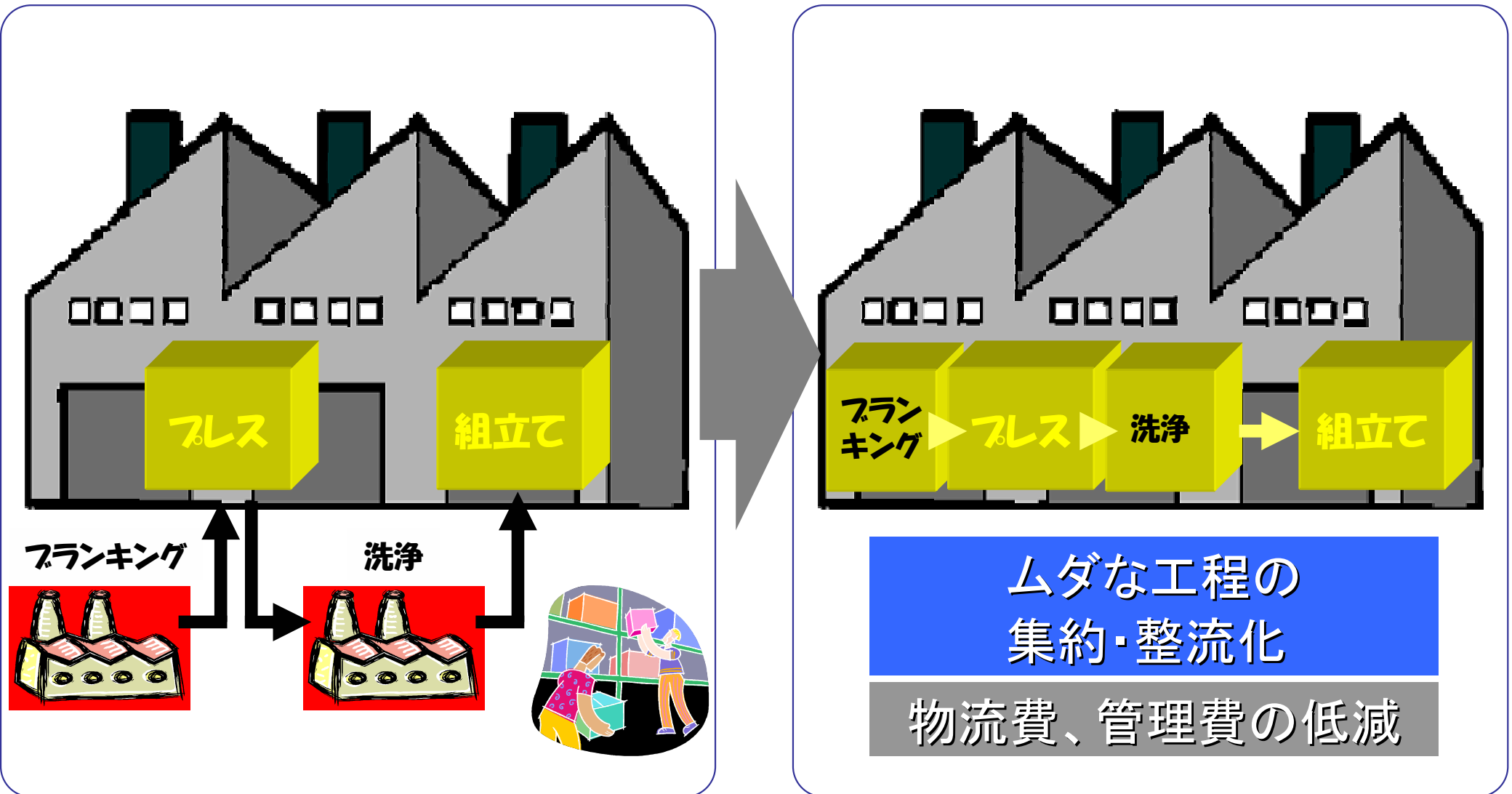
生産変動に強いラインへ
の変換スピードを加速さ
せ、生産性・収益性の高
いラインを構築する。

③工程内不良・廃却不良削減

加工点を見直し、工程内、
廃却、手直しに掛かるコ
ストを削減し、ムダを出さ
ない仕組みを構築する。

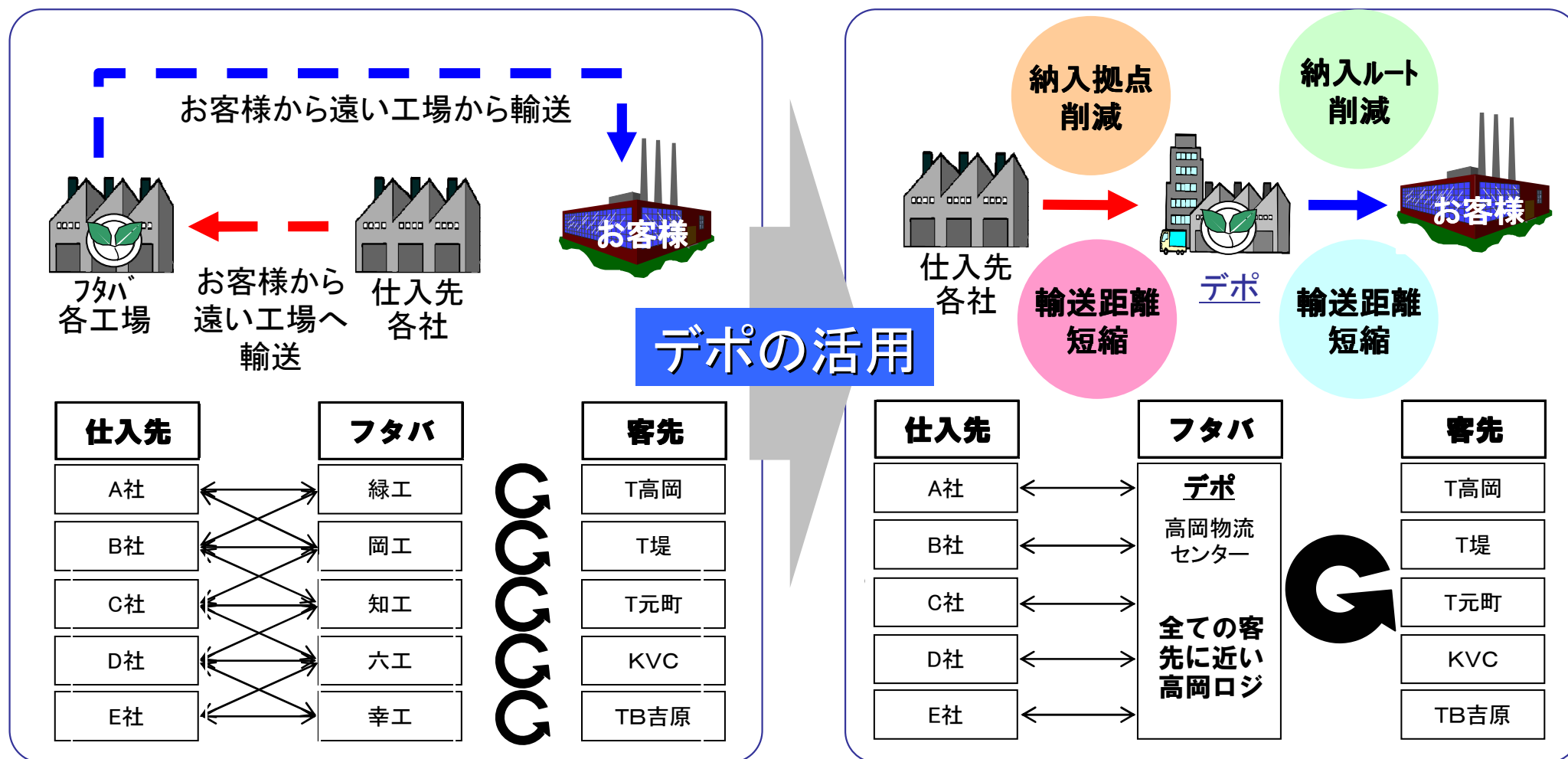
◇ ①サプライチェーン整流化(1)

●製造工程の流れ改善(事例)



◇①サプライチェーン整流化(2)

●輸送距離短縮、ルート最適化

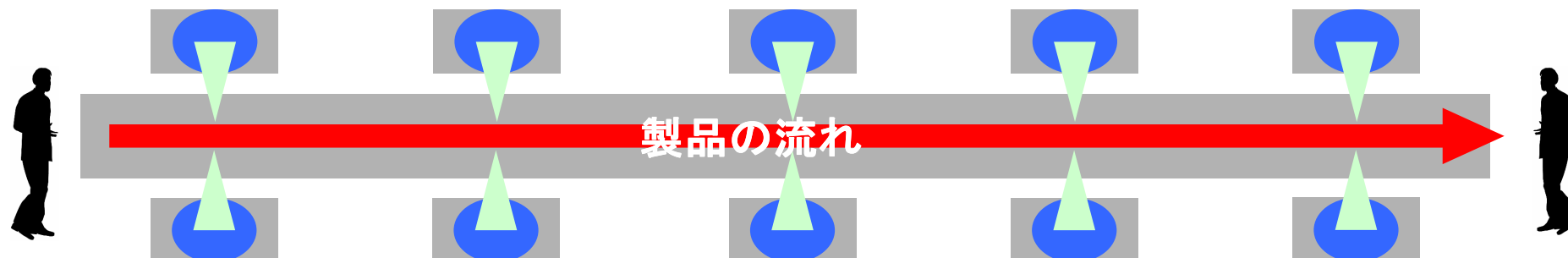


フタバ各工場の生産品目の再編

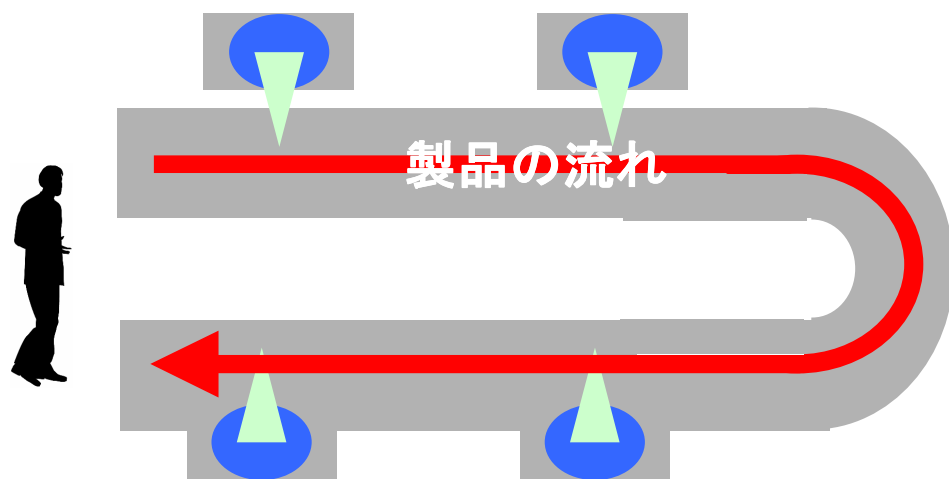
お客様に近い工場への集約化

◇②シンプル・スリム・コンパクト

重厚長大な直線ライン⇒設備投資大



シンプル・スリム・コンパクトなUターンライン⇒投資負担小



期待効果: 可動率向上
省人化の推進
スペースの半減

全150ライン

2012年度: 69ライン実施

2013年度: 81ライン実施

◇③工程内不良・廃却不良削減

全社でワーストラインを選定し、
モデルとして改善活動を重点実施。
⇒ 各ラインへ展開

◆製造・技術・生技・品保 全員参加の活動

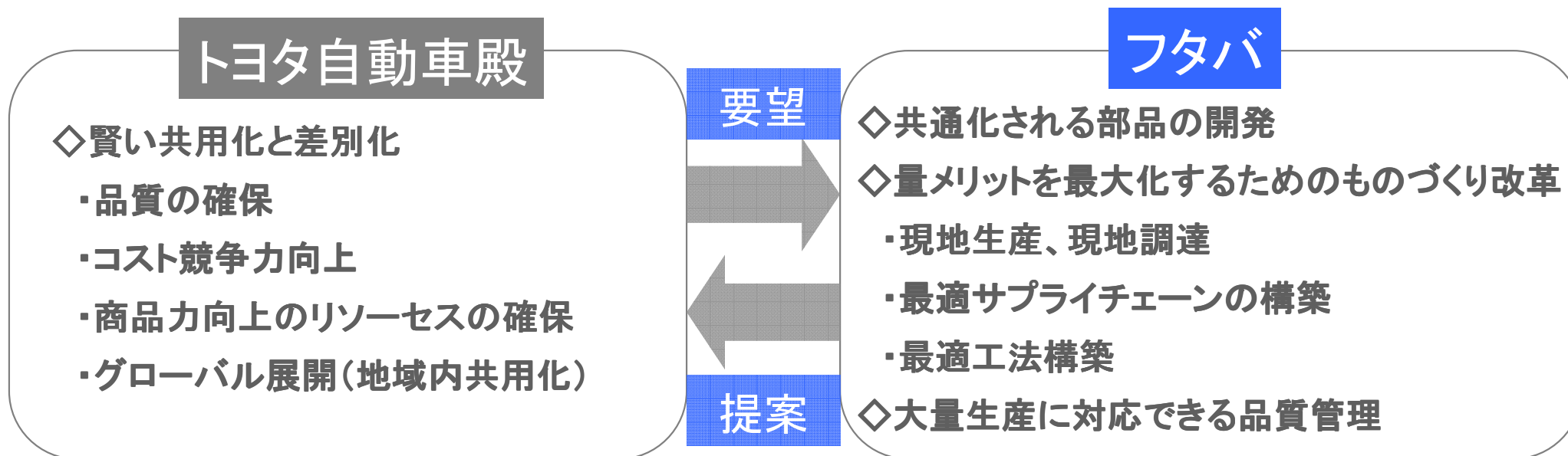
改善ステップ	現状分析	要因解析	改善	効果確認
推進 リーダー	製造 総本部	技術本部 生技本部	生技本部	製造 総本部

目標

- ◆ 廃却不良金額 －50%（前年度比）
- ◆ 手直しレスによる省人化 －50%

◇フタバNGA活動

グルーピング開発による部品の共用化というトヨタ自動車殿の要望に応え、さらにフタバの強みを活かしたより良い提案をしていく。



◇効果(例)

共通化により量が増える

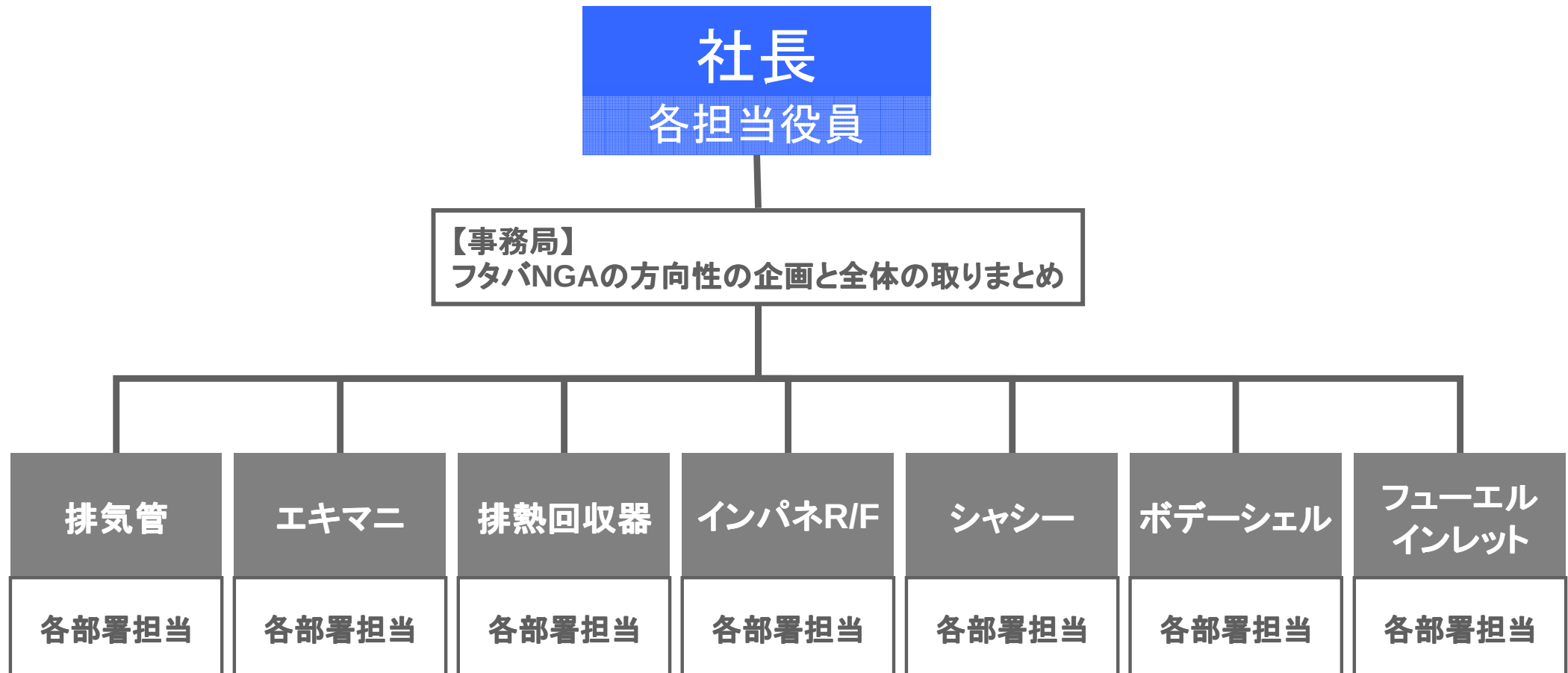
部品の種類が削減される

大幅なコスト削減

◇シナリオ

トヨタ自動車殿の「もっといいクルマをつくろうよ」という思いに応えるものづくりをしていく。そして、ほかのお客様も含めたより一層の拡販・受注を行っていく。

◇フタバNGA活動の組織



◇長沙双叶汽車部件有限公司(略称:長沙双叶)

場所:中国湖南省長沙經濟技術開發

資本金:10億円

主要客先:広汽三菱

設立:2012年2月

生産開始:2012年9月

生産品目:マフラー、ガソリンタンク、
インパネ、バンパー

従業員数:約70名(2012年末頃)



長沙双叶工場建屋



◇PT. Futaba Industrial Indonesia(略称:FII)

場所:GIIC工業団地(ブカシ県)

資本金:US \$ 16,250,000

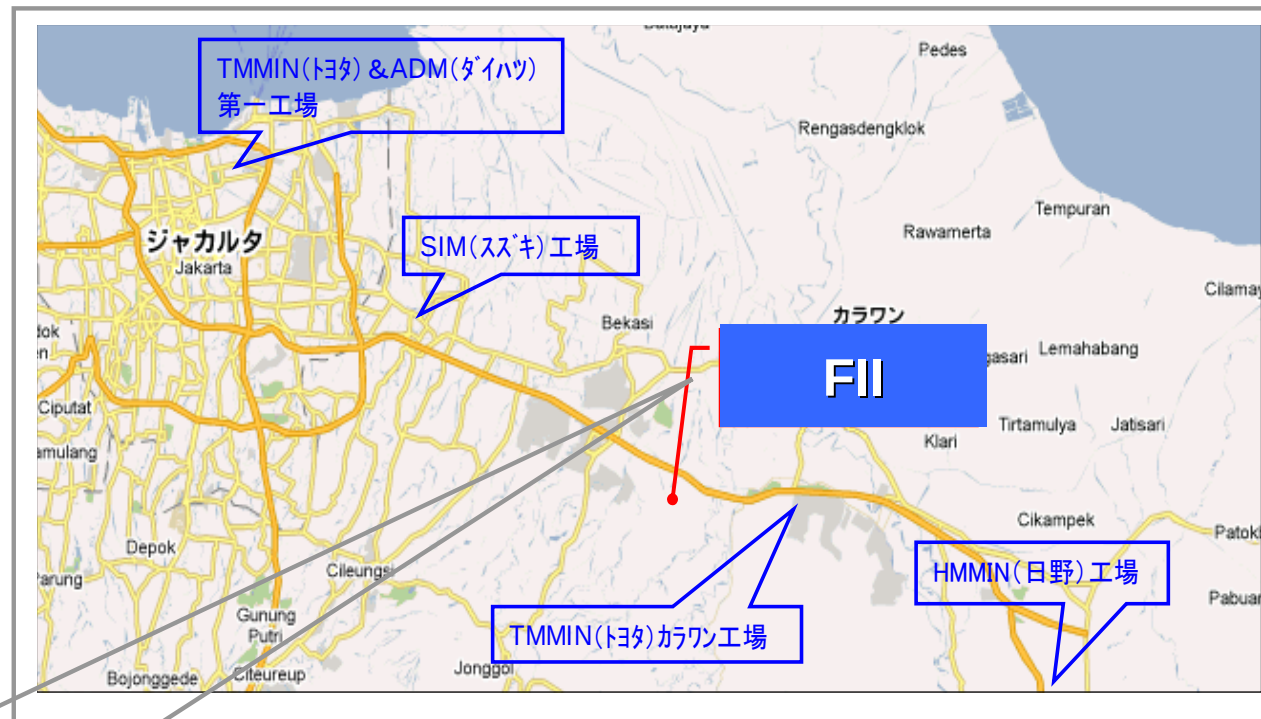
主要客先:トヨタ、スズキ、日野、日産

設立:2011年12月

生産開始:2012年12月

生産品目:ボデー部品、シャシー部品、
エキマニ

従業員数:約70名(2012年末頃)



建築中のFII工場建屋



1. 平成24年(2012年)3月期 決算概況【連結・個別】

2. 今後の取り組みについて

3. 平成25年(2013年)3月期
通期業績見通し【連結・個別】

連結通期業績見通し

金額単位: 億円

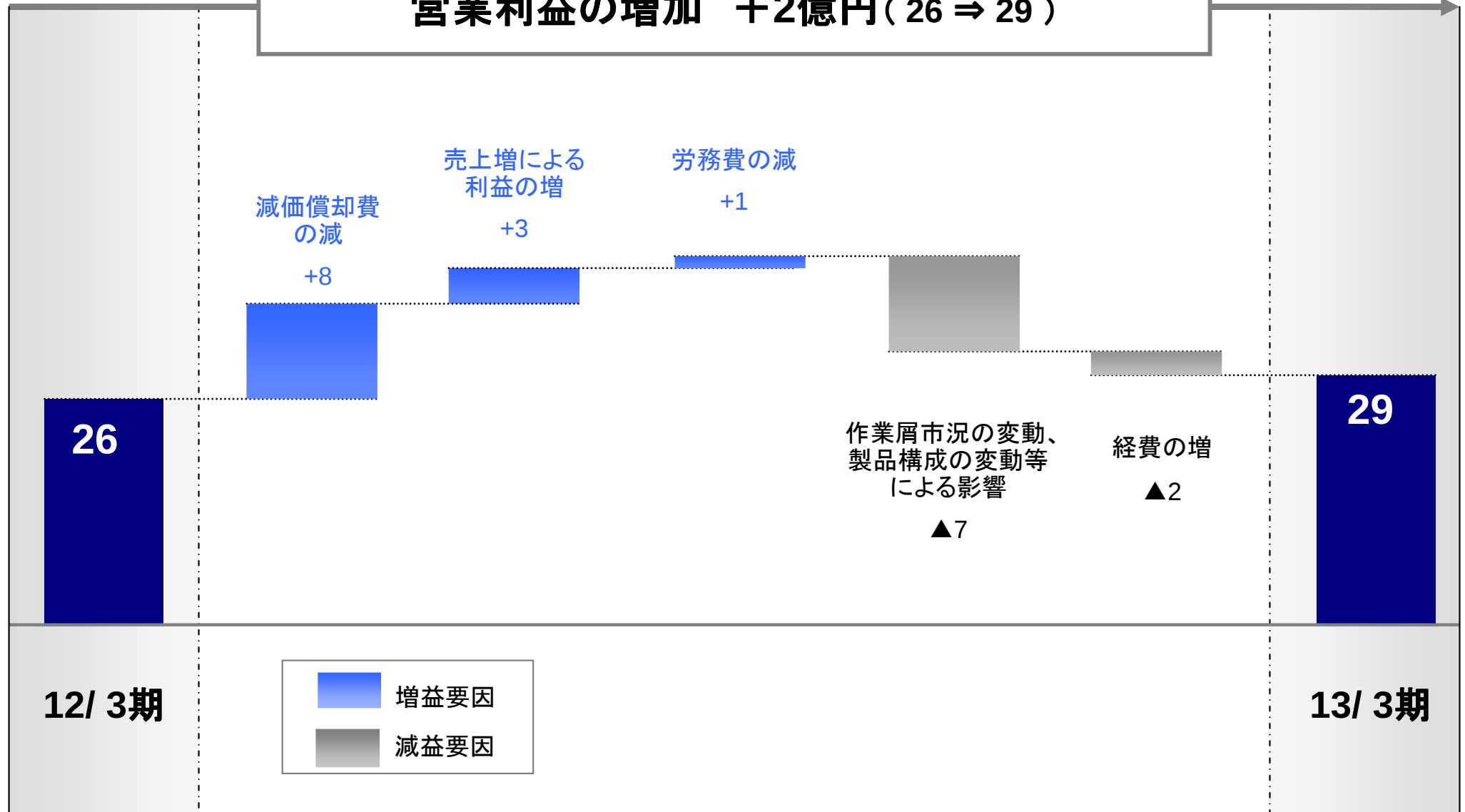
	13/ 3期 通期見通し	12/ 3期 通期実績	対 前年同期比	
			増減	増減率
売上高	3,754	3,720	+33	+0.9%
営業利益	29	26	+2	+10.2%
経常利益	18	3	+15	+435.7%
当期純利益	▲10	▲45	+35	—
為替レート (1ドル)	80円	79円	1円の円安	

〈連結〉営業利益の増減要因見通し（対 前年同期比）

35

金額単位：億円

営業利益の増加 +2億円（26 ⇒ 29）

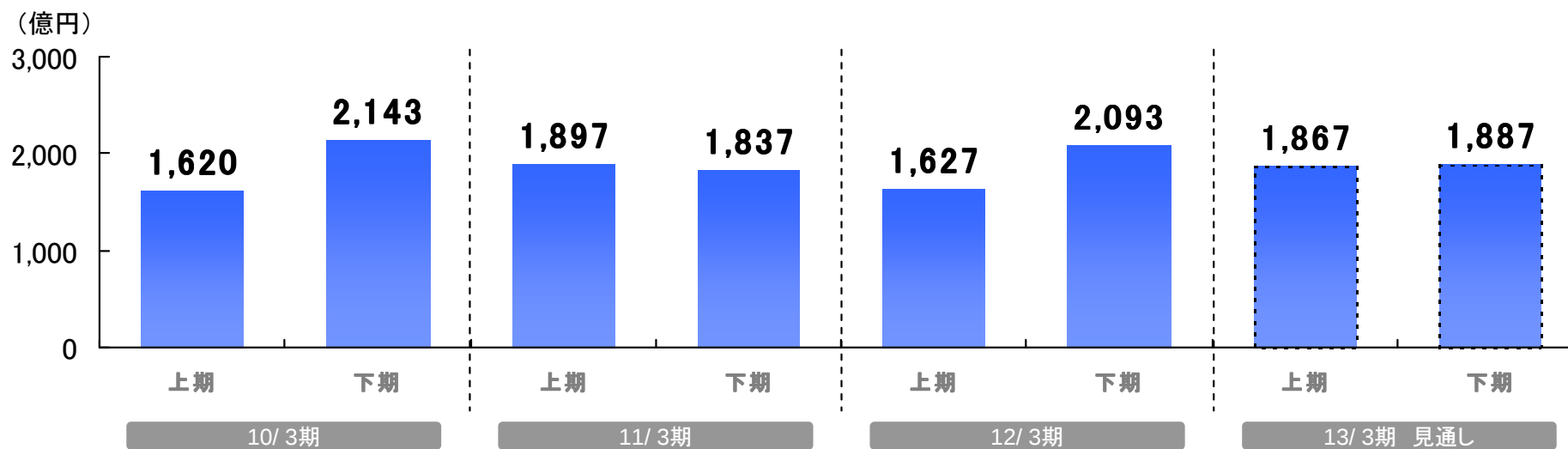


〈連結〉売上高と営業利益の推移見通し

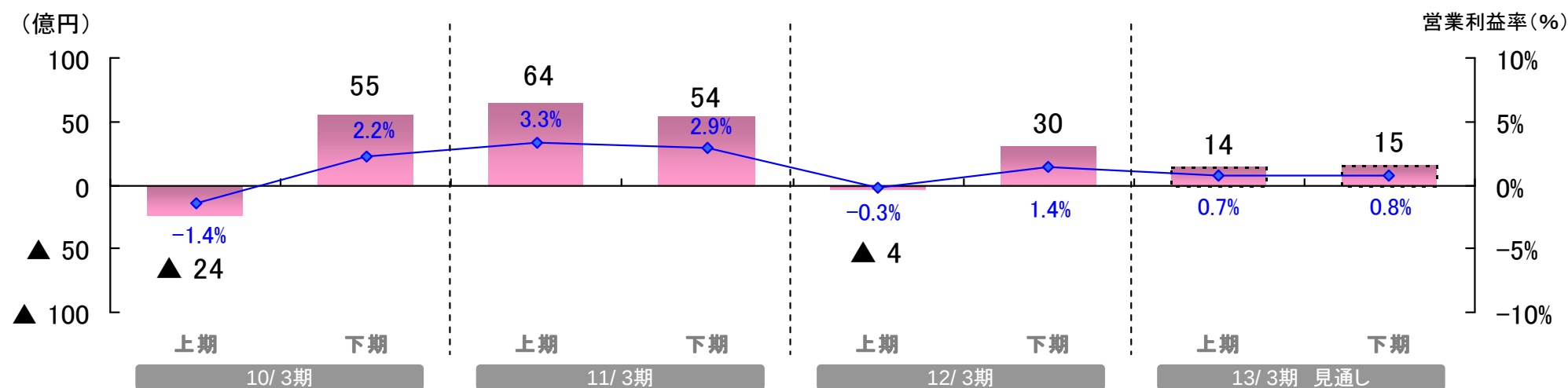
36

◆ 売上高推移見通し

金額単位: 億円



◆ 営業利益推移見通し



〈ドル/円〉

95

92

88

85

79

79

80

80

〈ユーロ/円〉

127

130

121

116

114

111

110

110

〈連結〉地域別売上高と営業利益見通し

37

金額単位: 億円

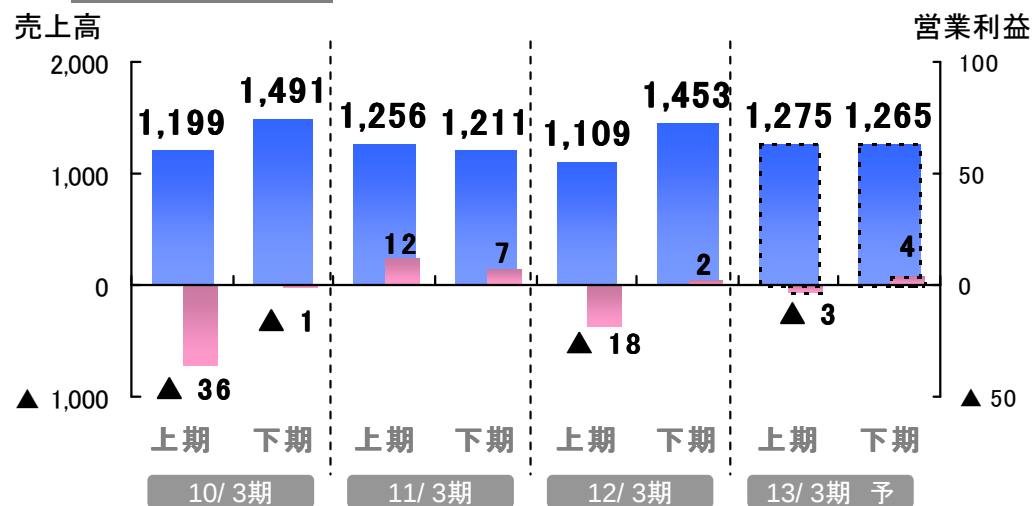
		13/ 3期 通期見通し	12/ 3期 通期実績	対 前年同期比	
				増減	増減率
日本	売上高	2,540	2,544	▲4	+0.1%
	営業利益	1	▲16	+17	—
北米	売上高	516	452	+64	+12.4%
	営業利益	▲11	▲14	+3	—
欧州	売上高	209	234	▲25	▲11.9%
	営業利益	▲6	0	▲6	—
アジア	売上高	655	609	+46	+7.0%
	営業利益	45	56	▲11	▲24.4%
連結調整	売上高	▲166	▲119	+47	—
	営業利益	0	0	0	—
合計	売上高	3,754	3,720	+34	+0.9%
	営業利益	29	26	+3	+10.2%

〈連結〉地域別業績推移見通し

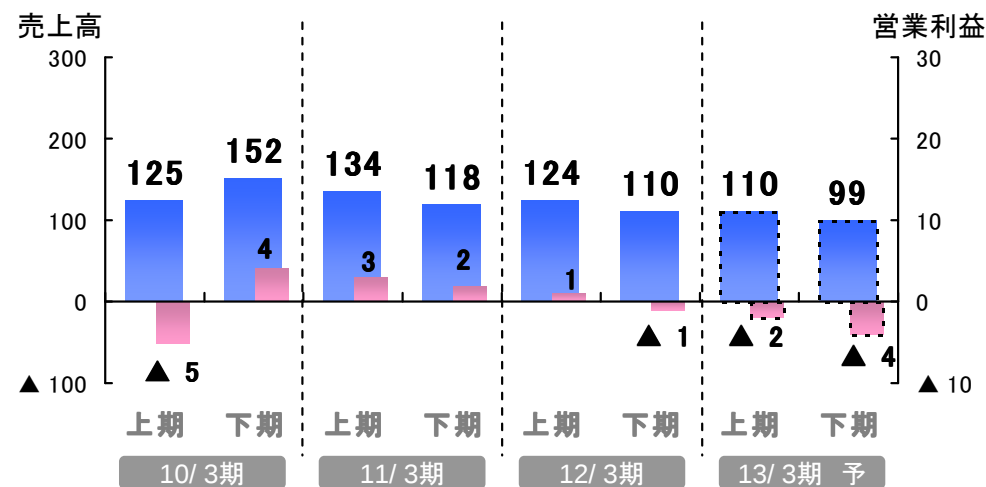
38

金額単位: 億円

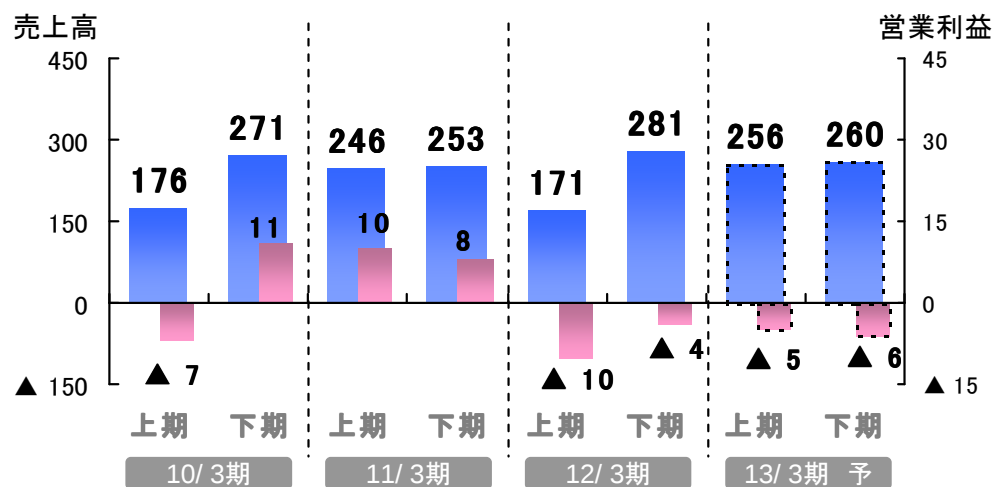
日本



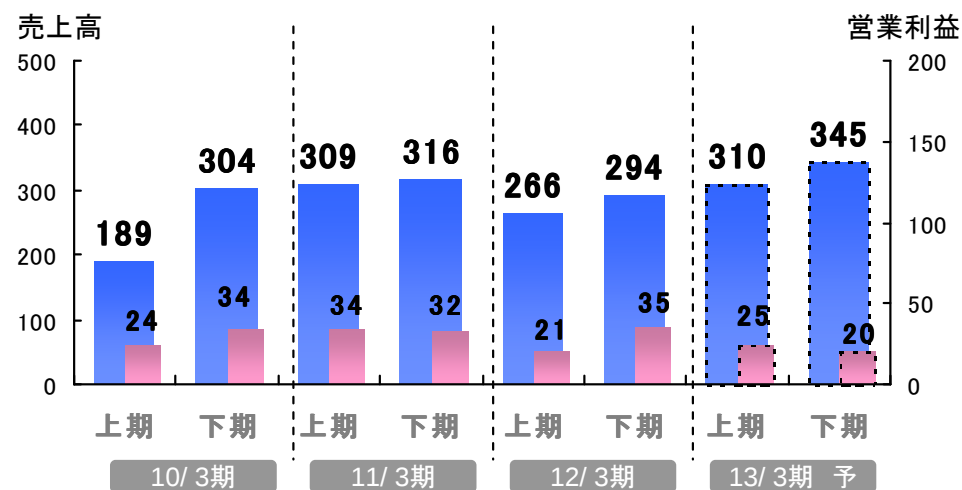
欧州



北米



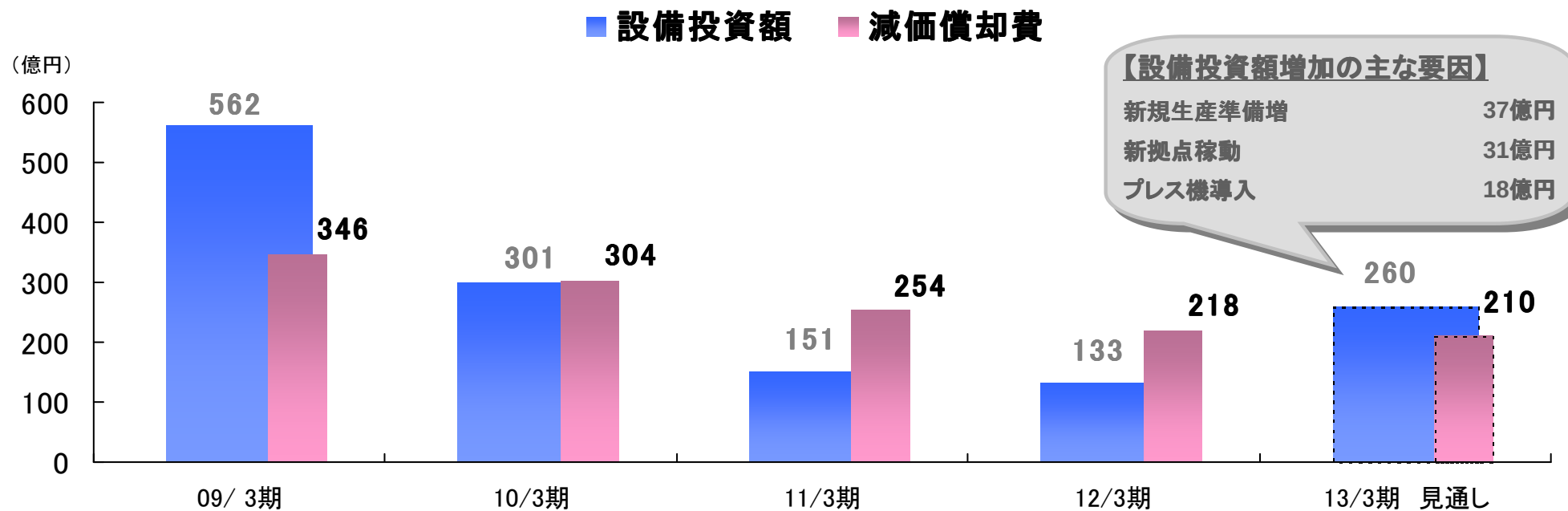
アジア



〈連結〉設備投資額と減価償却費の推移見通し

39

◆ 設備投資額と減価償却費の推移見通し



金額単位: 億円

	09/3期	10/3期	11/3期	12/ 3期	13/3期 見通し
設備投資額	562	301	151	133	260
減価償却費	346	304	254	218	210

個別通期業績見通し

金額単位:億円

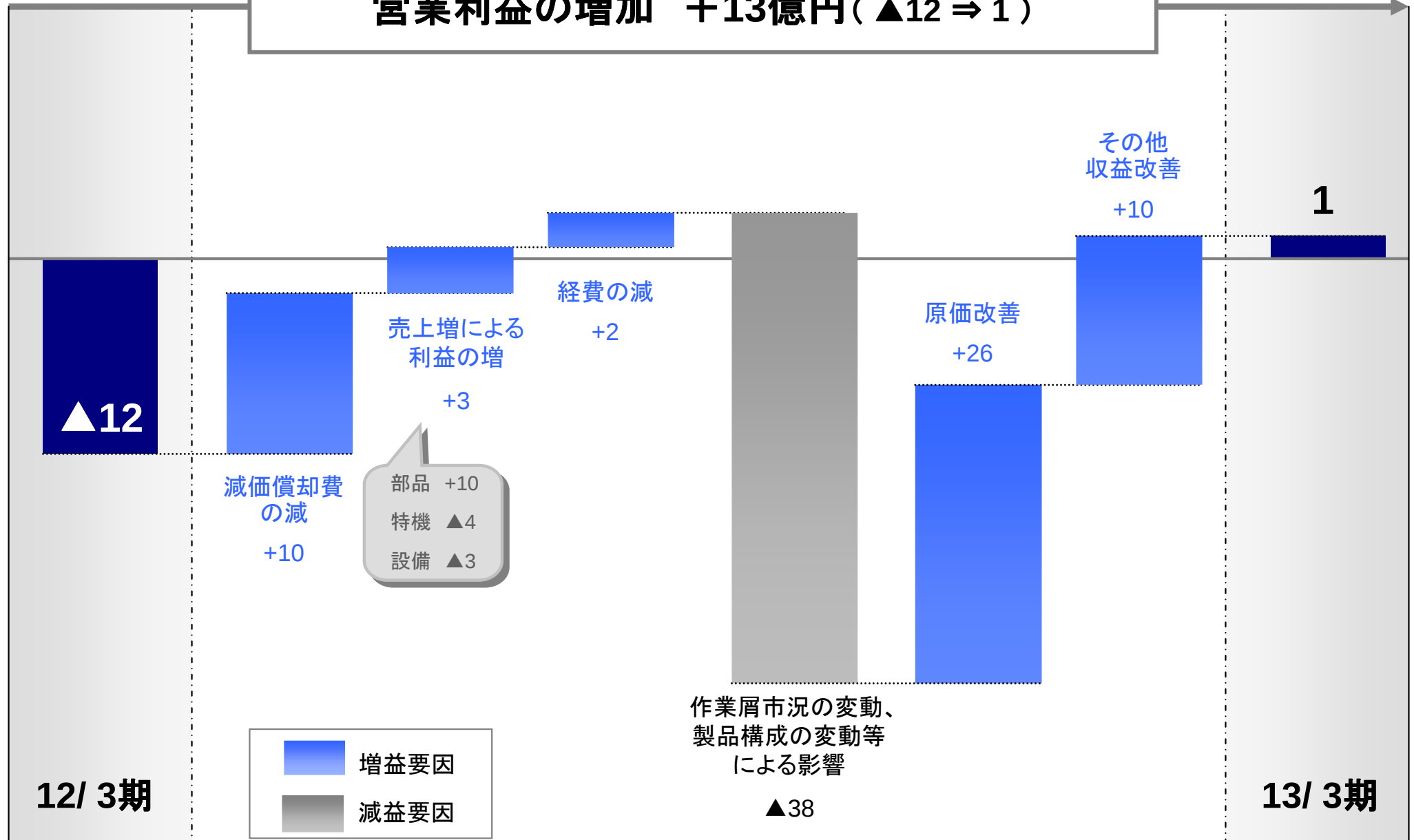
	13/ 3期 通期見通し	12/ 3期 通期実績	対 前年同期比	
			増減	増減率
売上高	2,510	2,518	▲8	▲0.3%
営業利益	1	▲12	+13	—
経常利益	15	▲16	+31	—
当期純利益	15	▲32	+47	—

〈個別〉営業利益の増減要因見通し（対 前年同期比）

42

金額単位：億円

営業利益の増加 +13億円（▲12 ⇒ 1）

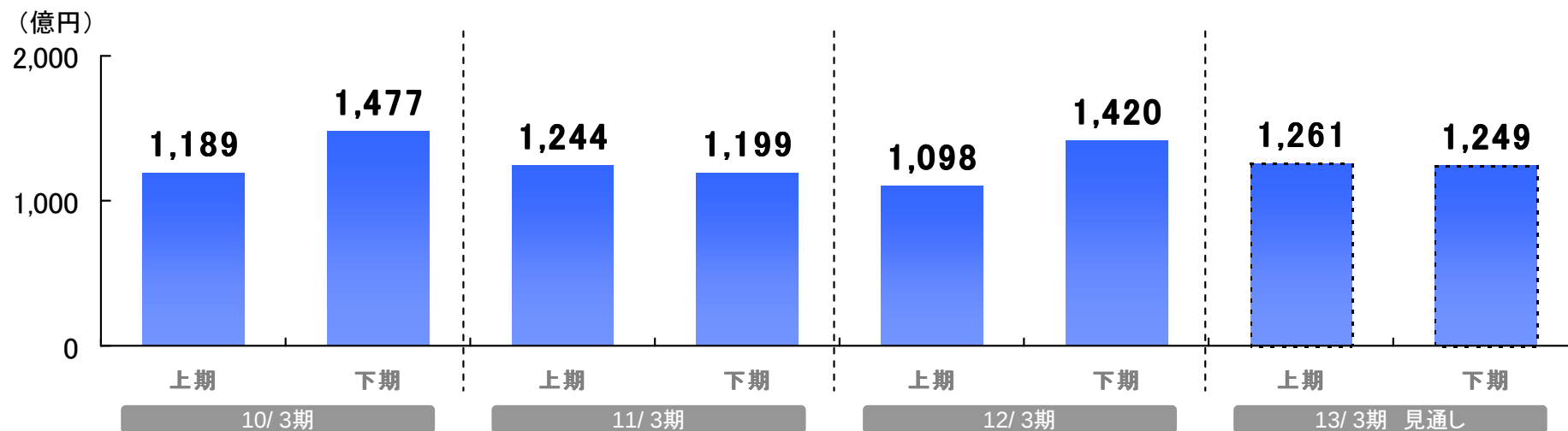


〈個別〉売上高と営業利益の推移見通し

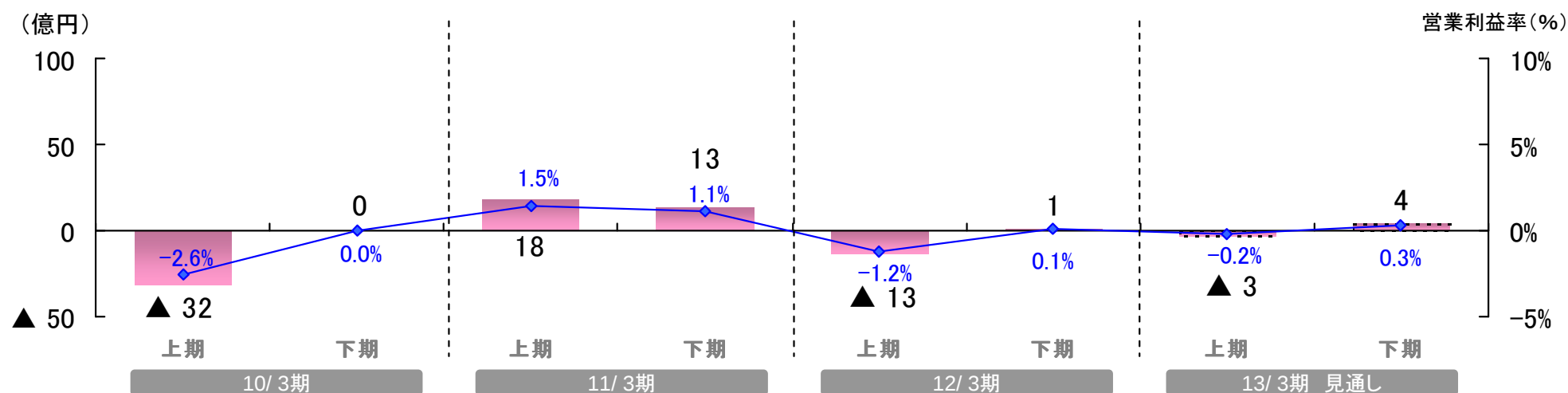
43

◆ 売上高推移見通し

金額単位: 億円



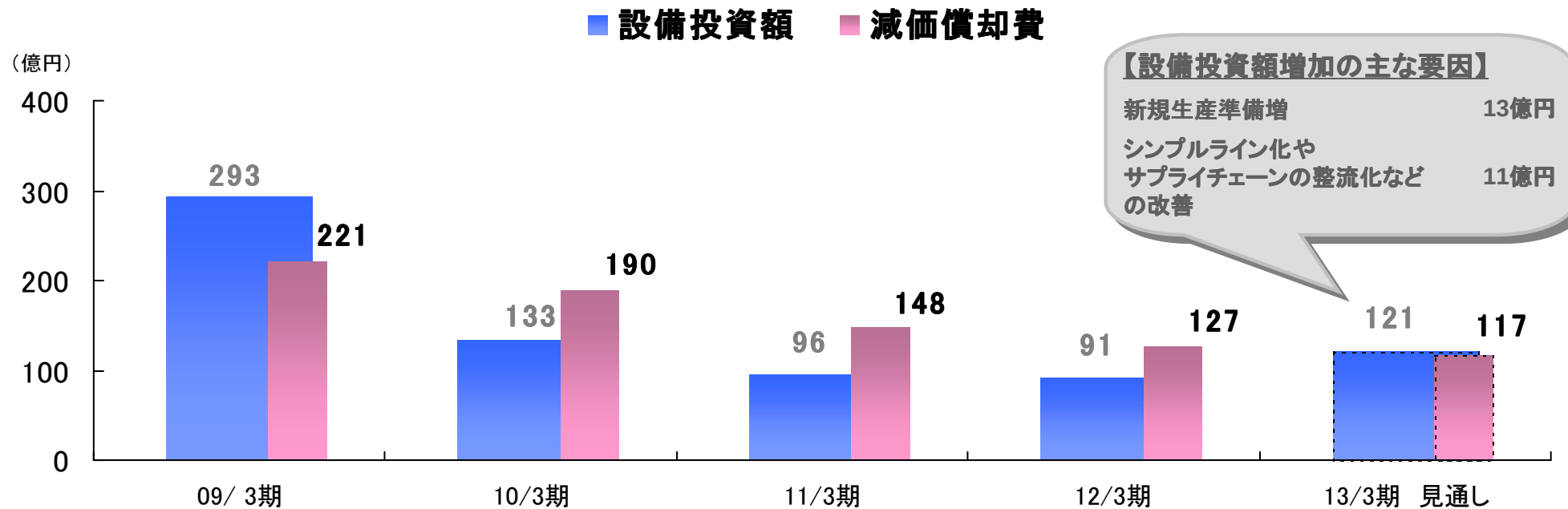
◆ 営業利益推移見通し



〈個別〉設備投資額と減価償却費の推移見通し

44

◆ 設備投資額と減価償却費の推移見通し



金額単位: 億円

	09/3期	10/3期	11/ 3期	12/ 3期	13/3期 見通し
設備投資額	293	133	96	91	121
減価償却費	221	190	148	127	117

本資料に記載される当社（連結子会社を含む）の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績見通し等のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い申し上げます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。

FUTABA

フタバ産業株式会社

<http://www.futabasangyo.com/>